

(参考様式1-1)

地域資源活用価値創出整備事業実施計画

計 画 主 体 名	計 画 期 間
鹿児島県日置市	令和7年度から令和10年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
産業建設部農林水産課	099-273-8870	099-273-8877	olive-suishin@city.hioki.lg.jp

【記入要領】

- 計画主体名
- ・市町村名にはふりがなをふること。
 - ・共同で作成する場合は、全ての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載すること。
- 計画期間
- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。
- 連絡先
- ・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。
- メールアドレス
- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農林水産物等の販売・加工促進 子ども農山漁村交流の促進	果樹や地域産物を利用した農家レストラン・農産物加工場を備えた農業交流拠点を新設し、生産した果実を原料とする果実クラフトビールや果実加工品を生産する。さらに、農家レストランで地域産物を提供することで農林水産物等の販売・加工促進につなげる。また、交流・体験学習室を活用した、果実加工体験や子供たちの工作・むかし遊び等の体験学習を行うことで子供の農村との交流を促進する。

II 評価指標

第1評価指標(必須)		具体的数値目標		具体的数値目標の算出方法				
地域産物の販売額の増加	18,343千円	日吉地区の地域産物販売額 計画期間平均値 計画前平均値 64,513 — 46,170 = 18,343						
第1評価指標の算定根拠		日吉地区の物産館で販売された地域産物の販売額や野うさぎの丘で生産された果実と農業交流拠点施設で加工・販売する果実加工品、果実クラフトビール、農家レストランで提供する地域産物を合わせた販売額を評価期間(計画期間3ヵ年平均値)から事業実施前(計画前3ヵ年平均値)を差し引いた販売額を設定した。						
地域産物	計画前			計画期間			単位:千円	
施設名・品名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3ヵ年平均値	令和8年度	令和9年度	令和10年度	3ヵ年平均値
物産館・農家レストラン 地域産物販売額	42,632	49,798	46,079	46,170	47,231	47,585	47,939	47,585
農業交流拠点施設 果実販売額	0	0	0	0	3,183	3,581	3,979	3,581
農業交流拠点施設 果実加工品販売額	0	0	0	0	2,436	2,740	3,045	2,740
農業交流拠点施設 果実クラフトビール販売額	0	0	0	0	9,428	10,607	11,785	10,607
計	42,632	49,798	46,079	46,170	62,278	64,513	66,748	64,513

第2評価指標（任意）		具体的数値目標の算出方法						
	具体的数値目標							
交流人口の増加	13,348人	日吉地区の観光地・物産館や農業交流拠点施設の入込客数 計画期間平均値 計画前平均値 21,200 — 7,852 = 13,348						
第2評価指標の算定根拠								
計画前（風木野陶）、計画期間（野うさぎの丘の農業交流拠点施設に訪れた客数を評価期間（計画期間3ヵ年平均値）から事業実施前（計画前3ヵ年平均値）を差し引いて設定した。								
交流人口		計画前			計画期間			単位：人
地区名・施設名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3ヵ年平均値	令和8年度	令和9年度	令和10年度	3ヵ年平均値
風木野陶 （レストラン）	9,032	8,780	5,745	7,852	0 野うさぎの丘で運営	0 野うさぎの丘で運営	0 野うさぎの丘で運営	0
野うさぎの丘 農業交流拠点施設	0	0	0	0	18,845	21,200	23,556	21,200
計	9,032	8,780	5,745	7,852	18,845	21,200	23,556	21,200

第3評価指標(必須)		具体的数値目標の算出方法	
	具体的数値目標		
農業と芸術をテーマにしたセミナー・イベントの開催	17回	日吉地区で開催するセミナーやイベントの回数 計画期間 17回／年 (令和10年度)	
第3評価指標の算定根拠			
日吉地区の施設や農業交流拠点施設で開催する農業と芸術(アート)をテーマにしたイベントやセミナーの令和9年度開催回数を設定した。			
農業と芸術をテーマにしたセミナー・イベントの開催			
イベント・セミナー名	内 容	場 所	開催数 回／年
日吉路アート巡り	日吉地区の陶芸・木工・絵画・飲食など多種多様な店舗が主催するフリーマーケットやワークショップ、コンサートを開催して近郊都市より多くの観光客を呼び込み、農畜産物・農畜産物加工品などの販売や情報発信を行い地域活性化を図る。	・日吉地区の店舗や工房 ・農業交流拠点施設	1
イチの日	NPO法人かごしま夢未来や日吉地区のお店・アトリエ等と連携したワークショップ、子供たちの工作・むかし遊び、コンサートなどイベントを開催するとともに、地域農業者が生産した農産品や農産物加工品を販売をする。	・赤いえんとつの家 ・農業交流拠点施設	12 (1回/月)
コンサート、絵画・陶芸教室、農業関連セミナー	新設する農業交流拠点施設を活用してコンサートや絵画・陶芸教室、農業関連セミナーを開催する。	・農業交流拠点施設	4
計			17
評価期間 (原則3年間の効果発現状況を把握する期間)		評価報告予定年 (評価期間の終了直後の9月末まで))	
令和8年度～令和10年度		令和11年度	

Ⅲ 温室効果ガス排出量の削減目標

IV 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
地域資源活用総合交流促進施設 ㉓都市農山漁村総合交流促進施設	日置市日吉地区	農業交流拠点施設整備	鉄骨造2階建て300.0㎡ 1棟(内60.0㎡) 1式	令和7年度	株式会社野うさぎの丘	22,358	7,909	35.4%	7,909	地域農産物、地域産物などを提供する農家レストランや地域で生産された果実を原料にしたクラフトビール製造施設・果実加工施設を併設した交流拠点機能を備えた農業交流拠点施設を整備することで、鹿児島市など近郊都市との交流を通して、交流人口の増加や地域農産物等の販売額の増加を図る。さらに、地域資源である伝統行事やアートをテーマにしたイベントを活かして日吉地区の農業・農産物・伝統・アートの体験学習ができる交流拠点として活用し、子供の農村との交流を促進する。	
地域資源活用総合交流促進施設 ㉔地域連携販売力強化施設	日置市日吉地区	地域農産物加工・販売施設整備	鉄骨造2階建て300.0㎡ 1棟(内150.0㎡) 1式	令和7年度	株式会社野うさぎの丘	55,896	19,772	35.4%	19,772	地域で生産された果実を使用したクラフトビール醸造施設・果実加工施設の整備により、果実加工品のブランド化や付加価値を向上させ農家レストランや産直販売所で販売することで、農産物・農産物加工品など地域農産物の販売額増加を図る。	
		屋外附帯施設整備	屋外ウッドテラス 1式	令和7年度	株式会社野うさぎの丘	7,068	3,212	45.4%	3,212		
処理加工・集出荷貯蔵施設 ①農林水産物処理加工施設	日置市日吉地区	地域農産物加工施設整備	鉄骨造2階建て300.0㎡ 1棟(内90.0㎡) 1式 ・果実クラフトビール醸造機器 1式 ・果実加工機器 1式	令和7年度	株式会社野うさぎの丘	74,854	34,024	45.5%	34,024	地域で生産された果実を活かした、クラフトビール醸造施設・果実加工施設の整備により、高付加価値・高収益型の農業を確立し、地域農業の活性化や日置市日吉地区の活性化を図る。	
合 計						160,176	64,917	40.5%	64,917		

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
 - ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性を併せて記載すること。
 - ・事業メニュー名欄には、実施要領別記3の別表2の事業メニュー名を記入すること。
 - ・地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
 - ・事業内容欄は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
 - ・事業規模等欄は、施設ごとの棟数と床面積、林道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
 - ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性欄は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。なお、別表2の(3)の㉓自然・資源活用施設の単独整備を実施する場合は記載不要。
 - ・「農泊」の取組を実施する場合には、備考の欄にどのように「農泊」と関連するかを明記すること。
- (※)「農泊」とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ滞在(農山漁村滞在型旅行)をいう。

V 他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
地域再生計画	②③都市農山漁村総合交流促進施設	日置市日吉町	「日置市まち・ひと・しごと創生推進計画(訪ねてよし ひおき)ひおきへの新しい人の流れを作る」 地域農産物、地域産物などを提供する農家レストランや地域で生産された果実を原料にしたクラフトビール製造施設・果実加工施設を併設した交流拠点機能を備えた農業交流拠点施設を整備することで、鹿児島市など近郊都市との交流を通して、交流人口の増加を図る。
	②⑥地域連携販売力強化施設	日置市日吉町	「日置市まち・ひと・しごと創生推進計画(働いてよし ひおき)ひおきブランド確立に向けた取組と販路拡大支援・7次産業化(6次+α)の推進」 地域で生産された果実を使用したクラフトビール醸造施設・果実加工施設の整備により、果実加工品のブランド化や付加価値を向上させ農家レストランや産直販売所で販売することで、農産物・農産物加工品など地域農産物の販売額増加を図る。
教育、観光等と連携した地域活性化に向けた取り組み ①子ども農山漁村交流プロジェクトの取組	②③都市農山漁村総合交流促進施設	日置市日吉町	「事業活用活性化目標(子ども農山漁村交流の促進)」 日吉地区の農業・農産物・伝統・アートの実験学習ができる交流拠点として活用し、子供の農村との交流を促進する。
地域別農業振興計画	②③都市農山漁村総合交流促進施設	日置市日吉町	「中山間地農業ルネッサンス事業(鹿児島県(農業の『稼ぐ力』)グリーン・ツーリズム農泊推進事業」 日吉地区の農業・農産物・伝統・アート等の地域資源を活用した体験学習をとおして、都市との交流人口の増加を図る。

【記入要領】

- ①交付対象となる事業のうち、実施要領第16に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性を記載すること。
- ②連携する施策名には、実施要領第16に掲げる施策を記載すること。
- ③事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記載すること。
- ④地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ⑤必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

Ⅵ 地域資源活用価値創出整備事業年度別事業実施計画

	計画 の 提出 年度	新規・ 変更 の 区別 新規 「1」 変更 「2」	都道府県	計画主体	市町村名	地区名	地域指定状況										計画期間 最終年度
			名称	名称			山村 振興	過疎 地域	特定 農山村	半島 振興	離島 振興	豪雪 地帯	急傾 斜地	奄美 群島	指定 棚田 地域		
事業別内容	R6	1	鹿児島県	日置市	日置市	日置市日吉地区		1		1							R10
	R6	1	鹿児島県	日置市	日置市	日置市日吉地区		1		1							R10
	R6	1	鹿児島県	日置市	日置市	日置市日吉地区		1		1							R10
①事業費計																	
②市町村等附帯事務費																	
③県附帯事務費																	
総合計 (①+②+③)																	
共同で計画作成を行う場合の内訳																	
	〇〇町	事業費(ハード)															
		市町村等附帯事務費															
	× × 県	事業費(ハード)															
		都道府県附帯事務費															
		市町村等附帯事務費															

【記入要領】
・実施要領別記3の第2の1の(1)のイに記載の発電施設の単独設置を実施する場合、計画の提出年度欄には、発電施設等を附帯する活性化施設の整備を実施する際に作成した活性化計画の提出年度を記載すること。

全 体 計 画	
---------	--

[illegible]

						備 考
令和○年度			令和○年度			
全体事業費	交付対象 事業費	交付金額	全体事業費	交付対象 事業費	交付金額	
円	円	円	円	円	円	融資該当
						融資該当
						融資該当
						融資該当
0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	